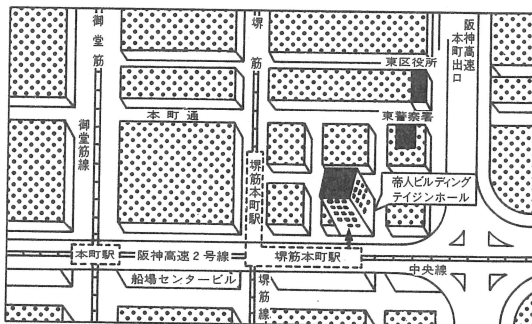
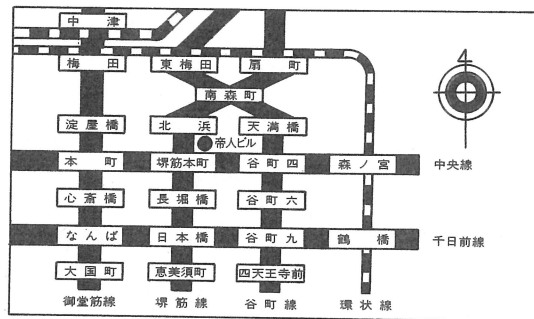


# 第12回近畿川崎病研究会

日時 昭和63年 3月12日(土)  
14:00~18:30

会場 テイジンホール  
大阪市東区南本町1丁目11番地  
TEL 06(268)3131~3132

帝人ビルディングテイジンホールご案内地図



地下鉄中央線・堺筋線の堺筋本町駅東出口から専用通路がございます。(東側2号出口)

# 近畿川崎病研究会

## 運営委員長

槇野征一郎

## 運営委員

上村 茂	小川 實	大國 英和	萩野廣太郎
神谷 哲郎	北村惣一郎	清沢 伸幸	四宮 敬介
鈴木 盛一	田村 時緒	内藤 泰顕	西岡 研哉
馬場 國藏	播磨 良一	伴 敏彦	広瀬 一
藤岡 義樹	藤原 久義	槇野征一郎	安居 資司
山城 国暉	山本 隆	横山 達郎	

## 顧問

川崎 富作 川島 康生 濱島 義博

## 事務局代表

神谷 哲郎

## 事務局

〒565 吹田市藤白台5-7-1

国立循環器病センター 小児科 鈴木淳子

TEL 06-833-5012

## ——出席者へのお知らせとお願い——

### 1. 参加者へ

- (1)研究会開始時間は午後2時よりです。
- (2)研究会会場費は年会費に含まれております。(年会費2,000円です)  
なお、未入会の方は入会の程お願い致します。

### 2. 演題発表者へ

- (1)口演時間は特に制限をいたしません、討論を十分行ないたいと思いますので、7～8分をめぐりをお願い致します。  
なお、ワークショップについては9～10分をめぐりして下さい。
- (2)スライドは35%版用とし、一面のみの使用とします。
- (3)スライドは会場入場の際「スライド受付」にご提出下さい。

### 3. 口演者へのお願い

口演内容はProgress in Medicine 7月号(ライフ・サイエンス社)に掲載される予定ですので、次の要領にておまとめいただきたく存じます。

執筆要項：400字詰原稿用紙にて図表は別で8枚以内におまとめ下さい、また、200字以内の英文抄録を付して下さい。

原稿締切：昭和63年4月31日(後日、(株)ライフ・サイエンスよりあらためてご連絡致します)

問合せ先：(株)ライフ・サイエンス 西尾敏己  
東京都渋谷区渋谷1-5-2 須藤ビル  
TEL 03(407)8963

### 4. 懇親会

- (1)研究会終了後17Fにて懇親会を開催致します。
- (2)会費は2,000円です。

# プログラム

(座長) 吉川栄治 (兵庫県立尼崎病院心臓センター) 14:00~14:25

1. マイコプラズマ肺炎を合併した川崎病の1例

南大阪病院小児科 中嶋敏宏、四方卓磨、高永煥、三宅宗隆

2. 重篤な心症状、心筋障害を伴うも、冠動脈障害は早期に regression した川崎病の一例

大阪市立北市民病院小児科

武知哲久、谷仁孝、尾崎真理子、佐野嘉子、木寺克彦

大阪市立大学小児科 多田明央、正寿康雄

和泉市民病院小児科 酒井可夫

(座長) 上村 茂 (和歌山医科大学小児科) 14:25~15:05

3. 川崎病患児におけるTNF (tumor necrosis factor) 活性について

和歌山医科大学小児科

鈴木啓之、飯塚忠史、根来博之、上村 茂、小池通夫

大阪バイオサイエンス研究所 滝川 修

4. 巨大冠動脈瘤内壁在血栓の血栓溶解療法

日赤医療センター小児科 片岡 正、菌部友良、川崎富作

5. 兵庫県東播地域における川崎病10年間の検討

加古川市民病院小児科 石田明人

市立西脇病院小児科 八木隆三郎

県立加古川病院小児科 関 温

三木市民病院小児科 大山泰治

国立加古川病院小児科 三宅慎一

高砂市民病院小児科 早野昌毅

神鋼加古川病院小児科 三舛信一郎

小野市民病院小児科 松井忠孝

市立加西病院小児科 坪田 徹

(座長) 小川 實 (大阪大学小児科) 15:05~15:45

6. 川崎病発症3年後、11年後、13年後に発見された巨大冠動脈瘤合併3症例の管理について

岐阜県立多治見病院小児科

中野正大、鈴木達雄、島田治子、上村 治、水口宏平

7. 川崎病死亡例の病初期における検査成績について

京都女子大学家政学部 藤原兌子

京都大学第3内科 藤原久義

静岡県立こども病院循環器科 中野博行

日赤医療センター小児科 後藤 亮、菌部友良、川崎富作

倉敷中央病院心臓センター小児科 馬場 清

8. 川崎病の急性期臨床症状から冠動脈瘤の発生予測は可能か

静岡県立こども病院循環器科 中野博行、上田 憲、斎藤彰博、福本信子

(座長) 小川浩史 (天理よろづ相談所病院小児循環器科) 15:45~16:10

9. 尼崎市における川崎病既往学童検診の現況

兵庫県立尼崎病院心臓センター小児科

村上洋介、吉川栄治、槇野征一郎

10. 心血管病変を認めた川崎病児74例の考察

天理よろづ相談所病院小児循環器科

梅本正和、小川浩史、田村時緒

〈休 憩〉

〈特別講演〉

(座長) 一色 玄 (大阪市立大学小児科) 16:20~17:00

「川崎病とレトロウィルス」

大阪大学微生物病研究所 高橋理明

ワークショップ “川崎病罹患学童、生徒の生活管理”

(座長) 横山達郎 (近畿大学心臓小児科)

鈴木淳子 (国立循環器病センター小児科) 17:00~18:20

11. 冠動脈後遺症を有する川崎病既往学童の生活管理

——運動負荷断層心エコー法を用いた検討——

京都府立医科大学小児科 神谷康隆、福持 裕、松村淳子

白石 公、糸井利幸、中川雅生、浜岡建城、沢田 淳

京都第二赤十字病院小児科 清沢伸幸

12. 川崎病有所見児の学校管理の実態

近畿大学心臓小児科 篠原 徹、横山達郎、中村好秀

砂川晶生、三宅俊治、久保田佳伸、老木美帆

13. 児童、生徒の心臓検診における川崎病既往児の取り扱いの実態  
——大阪府吹田市の場合——

国立循環器病センター小児科 奥野昌彦、鈴木淳子、新垣義夫

小野安生、木播 達、岡島 進、神谷哲郎

14. 川崎病学童心臓検診の問題点

京都第二赤十字病院小児科 清沢伸幸、水田隆三

京都府立医科大学小児科 浜岡建城、神谷康隆

研究会終了後、17Fにて懇親会を予定しております。

# 生体の防衛構想

Self Defense Initiative (SDI)

静注用免疫グロブリン製剤

 **ベニロン**®

乾燥スルホ化人免疫グロブリン Ⅰ類  
■健保適用

〔効能・効果〕

1. 低または無ガンマグロブリン血症。
2. 重症感染症における抗生物質との併用。
3. 特発性血小板減少性紫斑病（他剤が無効で著明な出血傾向があり、外科的処置または出産等一時的止血管理を必要とする場合）

●用法・用量、使用上の注意は製品添付文書をご覧ください

# Venilon®

株式会社 テイジン  
**TEIJIN** **テイジン**  
製薬会社  
 **化血研**  
株式会社  
 **フジサワ**